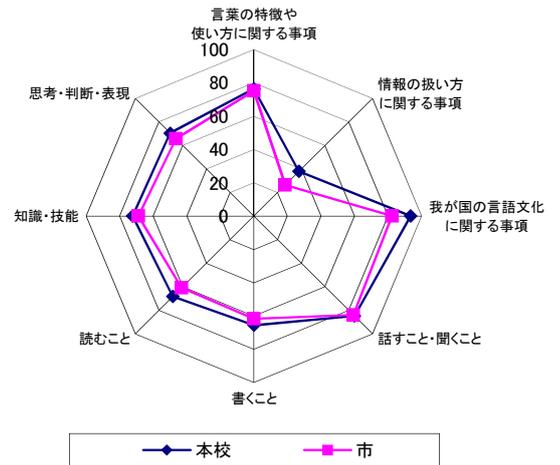


宇都宮市立ゆいの杜小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	76.5	75.3	77.1
	情報の扱い方に関する事項	38.0	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	93.5	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	84.8	83.9	84.2
	書くこと	65.6	61.7	64.5
	読むこと	68.3	60.9	61.0
観点別	知識・技能	72.2	68.8	70.3
	思考・判断・表現	70.5	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

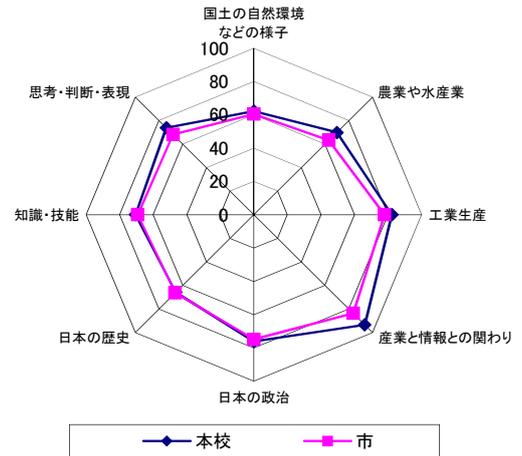
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	平均正答率は、市平均を上回った。 ○漢字を読む問題の平均は市の正答率を2.1ポイント上回った。 ●敬語について理解し、正しく使う問題では、市の正答率を2ポイント下回った。	・主語が誰かなのかを意識して尊敬語、謙譲語、丁寧語を正しく使い分けることができるようにする。 ・日常の中で敬語を使うよう、意識させる。
情報の扱い方に関する事項	平均正答率は、市平均を上回った。 ○●情報と情報との関係を理解し、文章の情報を整理する問題では、市の正答率を16.5ポイント上回ったが、正答率は33.7%と低かった。	・情報を整理して要約させたり、必要な情報を抜き取ったりする問題に取り組みさせる。
我が国の言語文化に関する事項	平均正答率は、市の平均を上回った。 ○和語・漢語・外来語について理解する問題では、市の正答率を11.1ポイント上回った。	・今後も語句の由来に関心を持たせるようにする。
話すこと・聞くこと	平均正答率は、市の平均を上回った。 ○話の内容を捉える問題では、4.2ポイント上回った。 ●意図に応じて質問を工夫する問題では、1ポイント下回っている。	・相手の話を正確に聞き取るためにメモを取るなどの工夫をさせる。
書くこと	平均正答率は、市平均を上回った。 ○●情報と情報との関係を理解し、目的に応じて、文章を簡単に書く問題では、市の正答率を6.6ポイント上回ったが、正答率は42.4%と低かった。 ○●予想される反論とそれに対する意見を書く問題では、市の正答率を3.3ポイント上回ったが、正答率は46.7%と低かった。	・求められている条件に合った文章の構成ができるように指導したり、理由をつけて自分の意見を言ったり、反論される意見についても考えさせるようにする。
読むこと	平均正答率は、市平均を上回った。 ○叙述をもとに文章の内容を捉える問題では、市の正答率を9.3ポイント上回った。	・今後も、文章の叙述を基に内容を捉える経験を積ませる。

宇都宮市立ゆいの杜小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	62.2	60.5	65.8
	農業や水産業	69.9	63.3	66.0
	工業生産	82.2	77.9	75.7
	産業と情報との関わり	93.5	83.8	76.6
	日本の政治	76.1	74.9	74.1
	日本の歴史	65.9	66.3	68.3
観点別	知識・技能	70.5	69.3	71.4
	思考・判断・表現	73.8	68.1	66.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

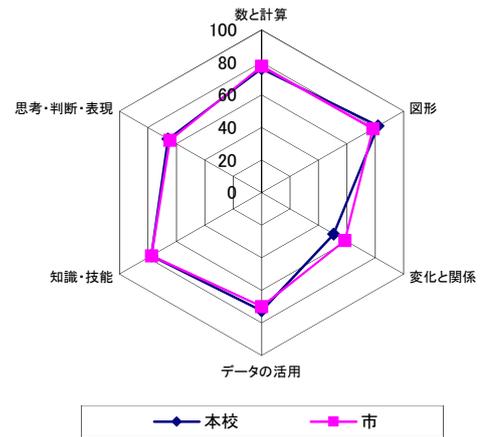
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は、市平均を上回った。 ○国土の構成を問う問題では、市の正答率を5.6ポイント上回った。 ●気候の特色を問う問題では、市の平均正答率を5.4ポイント下回った。	・自主学習や授業等で地図帳やタブレットを活用して、国や県の位置や地形などを確認させる機会を多くもたせる。
農業や水産業	平均正答率は、市平均を上回った。 ○日本の主な食料の自給率を問う問題では市の平均正答率を13.7ポイント上回った。 ●輸入などの外国との関わりにおける課題を問う問題では、市の正答率を、0.9ポイント下回った。	・農業や水産業に対して身近に感じるような指導を行い、興味関心をもたせ、さらに現在の社会情勢について普段の授業で取り上げるようにする。
工業生産	平均正答率は、市平均を上回った。 ○全ての問題において、市の正答率を上回り、特に自動車の部品を再利用する目的を問う問題では、市の正答率を6.6ポイント上回った。	・引き続き工業生産に対して関心をもてるよう指導を行い、理解を深めていきたい。
産業と情報との関わり	平均正答率は、市平均正答率を9.7ポイント上回った。 ○全ての問題において、市の正答率を上回り、特に、産業における情報活用の現状について考える問題では、市の正答率を14.3ポイント上回った。	・今後も引き続き、個人用パソコンを利用する機会を設定し、社会科の授業だけでなく、インターネットの正しい活用方法などを確認するなど、情報教育を進めていきたい。
日本の政治	平均正答率は、市平均を上回った。 ○平和主義の基本的な考え方を問う問題では、市の平均正答率を3.1ポイント上回った。 ●租税の役割について資料を読み取る問題では、市の正答率を1.9ポイント下回った。	・日頃から、収入や支出など、社会科で学習する用語の意味を確認する。 ・授業の中で多くのグラフなどの資料を読み取る時間を取るようになる。
日本の歴史	平均正答率は、市平均を下回った。 ○豊臣秀吉の政策を問う問題では、市の正答率を12.2ポイント上回った。 ●文化史で功績を挙げた人物について問う問題では、市の正答率を19.9ポイント下回った。	・それぞれの時代の重要な人物について、行った政策や、人物相互の関連を押さえる指導を行い、理解を深めさせていきたい。

宇都宮市立ゆいの杜小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	76.2	77.7	78.6
	図形	82.0	78.4	74.4
	変化と関係	50.7	58.7	53.0
	データの活用	72.5	69.9	57.2
観点別	知識・技能	77.6	77.5	74.0
	思考・判断・表現	65.8	64.5	58.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

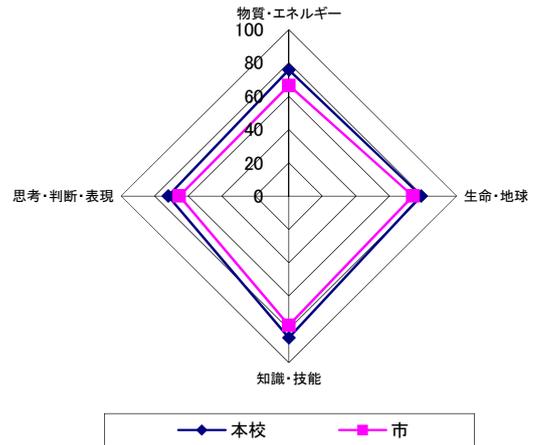
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>平均正答率は、市平均を下回った。</p> <p>○小数の乗法の文章問題を表した図を選ぶ問題では、市の正答率を2.1ポイント上回った。</p> <p>●真分数の計算問題では、市の正答率を7.1ポイント下回った。</p> <p>●文字の式の2つの数量の関係を1つの式に表す問題では、正答率が66.3%で、市の正答率を4.9ポイント下回った。</p>	<p>・既習事項が身に付くよう、宿題、自主学習、朝の学習の時間を活用し、定着を図る。特に、基本的な計算問題を繰り返し練習させる。</p> <p>・文章問題を解く際に、問題解決の手立てとなる文中の言葉に注目させたり下線を引かせたりするなど、筋道を立てて考えていく活動を取り入れる。</p>
図形	<p>平均正答率は、市平均を上回った。</p> <p>○正多角形の内角の和について図に合った式を選ぶ問題では、市の正答率を8.5ポイント上回った。また、円の面積を求める式を選ぶ問題では、市の正答率を6ポイント上回った。</p> <p>●対称な図形の中心についての問題では、市の正答率を2ポイント下回った。</p>	<p>・それぞれの図形の性質や特徴について復習する機会を設け、繰り返し図形に触れるようにする。</p> <p>・定規やコンパス、分度器を使用し、具体物を使って考えたり、作図などをさせたりして、理解を深められるようにする。</p>
変化と関係	<p>平均正答率は、市平均を下回った。</p> <p>●表から面積と人数の割合を求め、単位量あたりの大きさを考察する問題では、市の正答率を10.3ポイント下回った。</p> <p>●分速を秒速や時速に直す問題では、正答率が46.7%にとどまり、市の正答率を7.6ポイント下回った。</p>	<p>・単位量あたりの大きさを求める問題では、様々な問題に触れさせる際に、しっかりと問題文を読み、何を求める問題なのかを考え、目的に応じて、どの量をどのように使うのかを判断できるように意識して問題に取り組ませる。</p> <p>・速さの単位の関係を理解できるように、基本的な問題を繰り返し練習させる。</p>
データの活用	<p>平均正答率は、市平均を上回った。</p> <p>○ヒストグラムからデータを読み取り、情報の真偽を考察する問題では、市の正答率を7.6ポイント上回った。</p> <p>●平均から全体の量を推測する問題では、市の正答率を1.6ポイント下回った。</p>	<p>・データ全体を表す指標として、「平均値」「中央値」「最頻値」などの代表値について繰り返し指導する。また、データの分布の様子を捉えることにも着目させ、グラフ化したものを読み取るように、繰り返し問題に取り組ませる。</p>

宇都宮市立ゆいの杜小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	75.9	66.5	66.3
	生命・地球	78.8	74.0	72.6
観点別	知識・技能	85.1	77.6	78.2
	思考・判断・表現	71.9	65.3	63.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市平均を上回った。</p> <p>○振り子の周期の規則性に関する問題はいずれも市の正答率を大きく上回った。特に振り子の周期は振り子の長さによって決まることを説明する問題では、15.6ポイント上回り、よく記述できていた。</p> <p>●未知の水溶液を特定する実験する方法に関する問題では、市の正答率は上回ったが正答率は低かった。</p>	<p>・水溶液の性質を、特定する方法を見つけ出させるために、実験の際に試行錯誤して考える時間を設ける。</p>
生命・地球	<p>平均正答率は、市平均を上回った。</p> <p>○動物のからだのつくりとはたらきに関する問題はいずれも市の正答率を大きく上回った。特に、だ液によってでんぷんがどのように変化するかを推測する問題では、市の正答率を13ポイント上回った。</p> <p>●台風が上陸しやすい時期をもとに、ダムの水位を減らす時期を予測する問題では、市の正答率を8.5ポイント下回った。</p>	<p>・台風における防災上の留意点を押さえ、生活に生かす指導を充実させる。</p>

宇都宮市立ゆいの杜小学校 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
<p>教員それぞれの専門性を生かした教科担任制の取組。</p>	<p>・高学年を中心とした教科担任制の実施。</p>	<p>「勉強がすきか」の設問では、市の肯定割合を下回った。(3ポイント) 「学校の授業がどの程度分かるか」の設問では、やや上回った。(0.7ポイント)</p>
<p>家庭学習の習慣化に向けた指導の工夫。</p>	<p>・自主学習の内容や方法を示し、参考になりそうな実践をクラスの児童に紹介する。 ・保護者が家庭学習や自主学習ノートを確認する機会を設定する。</p>	<p>「宿題はきちんとやっている」の設問では、市の肯定割合をやや上回った。(1.9ポイント) 「自分で計画を立てて、家庭学習に取り組んでいる」の設問では、市の肯定割合はほぼ同等であった。</p>

★国・県・市の結果を踏まえての次年度の方向性

・学力調査の結果では、どの教科でも市の平均を上回る正答率となった。引き続き、各教科等の授業において、教科主任を中心として教材研究を深め、学力の向上を目指したい。学習に対しての前向きな態度については、市の肯定割合を下回る結果となっているので、専門性を生かしながらそれぞれの学習への興味関心を高め、学びを喜ぶ児童の育成を目指したい。

・家庭学習については、宿題にきちんと取り組むことはできているようなので、引き続き、「家庭学習ふり返り週間」を実施し、日々の家庭学習の習慣をしっかりと意識づける機会を設けていきたい。